

住吉神社・浮気城グループ 質問事項

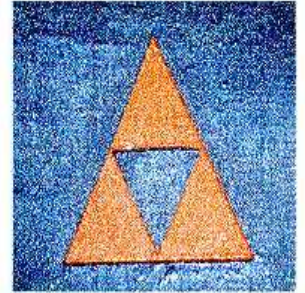
- ・浮気ときふさが着ていた服はどんなものですか。
- ・浮気ときふさはどんな人ですか。
- ・浮気城はいつこわされたのか。
- ・浮気城の大きさはどれぐらいですか。
- ・浮気ときふさの最後の言葉は何ですか。
- ・浮気城の土塁について教えてください
- ・住吉神社の「住吉」という、名前の由来は何ですか。
- ・住吉神社の建物の中には、何がありますか。
- ・住吉神社を作った人は誰ですか。

当時の服装

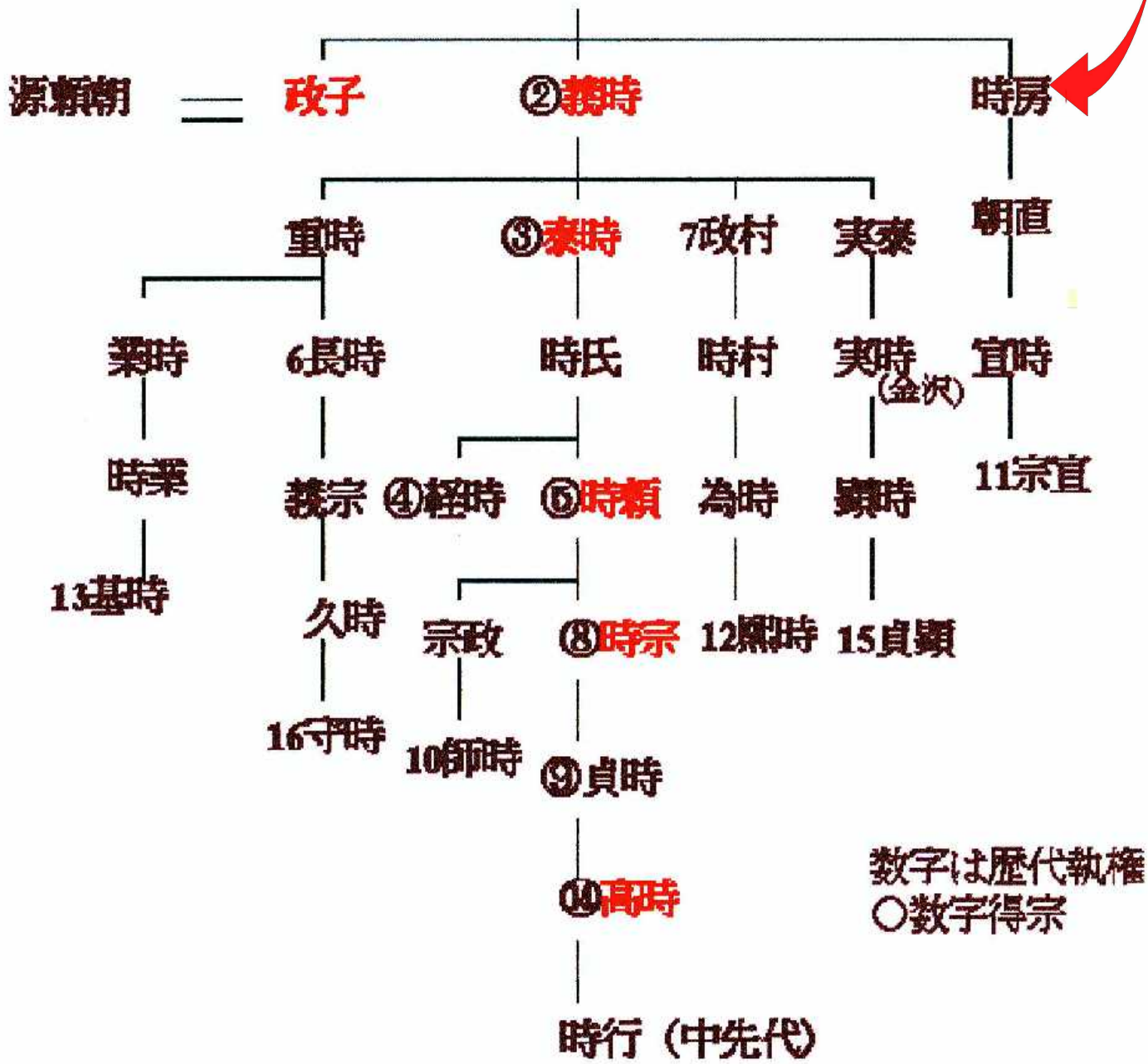




北条氏略系図



1北条時政

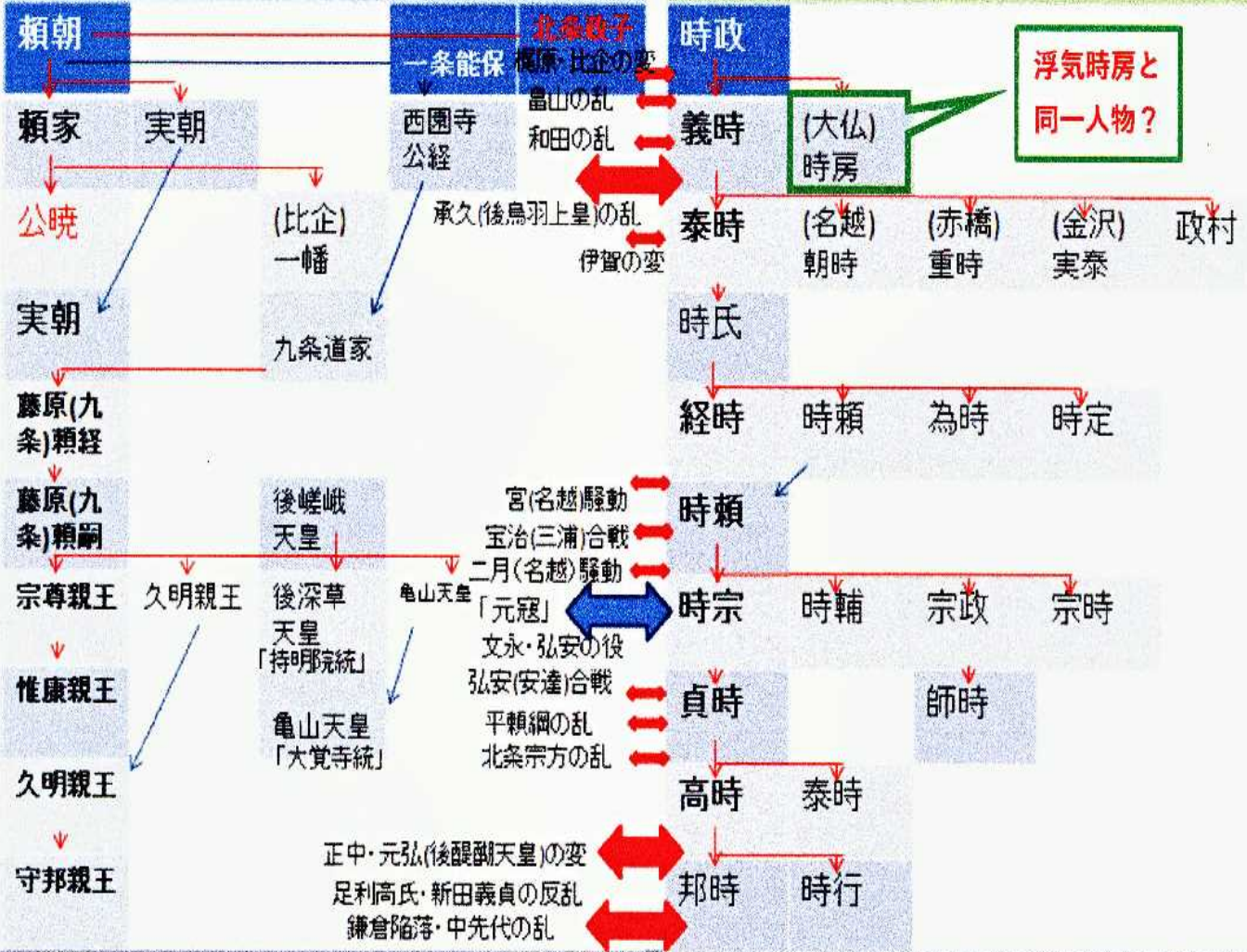


鎌倉幕府将軍・北条得宗家の系譜

ver02

源ノ頼朝:将軍家

北条時政:得宗家



時房の最後のことは分かりません

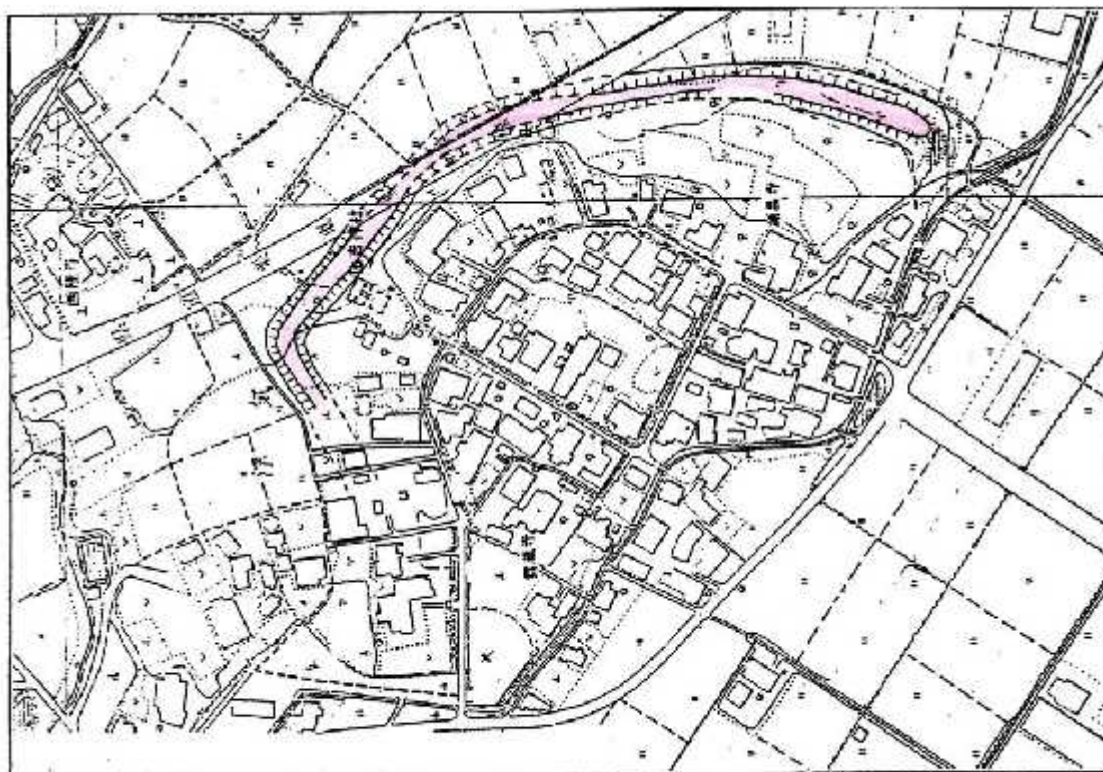
住吉神社と浮気城のあゆみ

住吉神社			浮気城		
西暦	元号	内容	西暦	元号	内容
709年 (1307年前) 奈良時代	天平11年	・物部道足(もののべのみちたり)が住吉三神を祀った。 1. 櫛玉命(クシタマノミコト) 2. 鏡速日命(ニギハヤヒノミコト) 3. 住吉三神 * 海の神 ソコツツノオ命(底筒之男命) ナカツツノオ命(中筒之男命) ウワツツノオ命(表筒之男命)			
神社祀っているもの					神社を作った人
1220年 (796年前) 鎌倉時代	承久2年	浮気定勝が本社を再建			浮気時房が築城 最初の城主は浮気時綱
			1582年	天正10年	本能寺の変 落城 最後の城主(浮気貞仁)
1639年 (377年前) 江戸時代	寛永16年	本社を再々建			
			<参考> 1570年 元亀元年 織田信長が本願寺派と対立した時、拠点の一つとして奉行が置かれた。 (一向一揆:金ヶ森城) * 浮気時房とは ・北条時綱(12世紀末)の三男 北条時綱 (*北条時政の弟。 <北条時方の息で、祖父が時家とする系図もあります。> ・北条時政(1138~1215) ・後醍醐天皇に仕え、 (1288~1339)		

* ↓北条時房 (1175~1240)大仏時房・(佐介)・五郎・式部丞・武蔵守・相模守・時連。北条時政の息。足立遠元、葛西時清の娘婿。将軍・源ノ頼家の側近。1189年奥州征伐軍に従軍。1203年鎌倉寺社奉行就任。1205年畠山重忠討伐軍。1212年「和田の乱」の軍功により上野飯富荘を得る。1221年「承久の乱」に泰時とともに上洛。六波羅南方奉行。北条泰時を補佐し連署。1234年北条経時の元服式に列席。義時の遺児・北条泰時の鎌倉入りに協力する。

浮気城は堀と土塁で二重に囲まれた平城であったと考えられており大きさは不明である

浮気城の土塁



図面番号 | 25 | 城郭名 | 浮気城 | 住吉神社境内と町内に土塁が巡っている

・住吉三神(すみよし さんじん)

底筒男命(そこつつのおのみこと)、中筒男命(なかつつのおのみこと)、表筒男命(うわつつのおのみこと)の通称である。住吉大神ともいうが、この場合は住吉大社にともに祀られている息長帯姫命(神功皇后)を含めることがある。海の神、航海の神、また和歌の神とされる。



かつての神仏習合の思想では、それぞれ薬師如来(底筒男命)、阿弥陀如来(中筒男命)、大日如来(表筒男命)を本地

・住吉神社の「住吉」という、名前の由来

住吉は、元は「すみのえ」と読んだ[1]。住吉の「吉」は古来では「エ」と読み、「住」(スミ)と「吉」(エ)の間に助詞の「ノ」を入れて、「住吉」は「スミノエ」と読んだが、平安時代の頃から「スミヨシ」と読むようになった。スミノエとは「澄んだ入り江」のことであり[要出典]、澄江、清江とも書いた。

浮気の火祭りについて教えてください。
火祭りのいわれについて教えてください。
たいまつの大きさについて教えてください。

住吉神社の歴史、火まつりについて

①住吉神社の歴史

西暦739年ごろ(天平11年)に、物部道足(ものべみちたり) という人が浮気町を含む物部村に住吉三神を祭られたのが、住吉神社の始まりとされ、1220年に浮気定勝が、本社を再建されたと伝えられています。

②火まつりの始まりについて

言い伝えによると、今から約800年前(鎌倉時代の初期) 土御門天皇にとりついた大蛇を焼き払って天皇の病気を平癒したのが「火まつり」の起源とされています。

退治した際、大蛇の頭が住吉神社に、胴体が勝部神社に、尾は大津市の瀬田まで飛んだとされ、住吉神社は大蛇の頭、勝部神社は胴体に見立てた大松明に奉火し、一年の無病息災を祈願します。

尚、火まつりは、毎年1月の第二土曜日におこなわれます。

③松明について

- ・長さ : 約6メートル
- ・重さ : 約300kg
- ・材料 : 柴。竹。藁(わら)。荒縄。菜種殻

*お祭り当日(1月第二土曜日)

- ・午前10時 式典
- ・午前11時 お弓式(矢を3本射る)
- ・正午より 6本の松明を20人ぐらいで担ぎ、町内を練り歩いてお宮さんに入れます。
- ・午後 6時 当番の家に集まり、7時前にお宮さんに入ります。
- ・午後7時半~8時前、氏子が競争して松明に火をつけます。